京急電鉄、木造古民家活用の地域拠点開業 東京・品川

#東京 #神奈川 #関東

2022/6/3 20:43

古民家をリノベーションして、地域交流の拠点などに活用する（東京・品川）

京浜急行電鉄は3日、コミュニティー拠点「SHINAGAWA1930」（東京・品川）を全面開業した。施設は同社が拠点とする品川駅（東京・港）近くの築90年ほどの木造建築群を生かしたのが特徴だ。

京急グループでリノベーションを手掛けるRバンク（東京・目黒）が運営し、地域の魅力発信や交流促進の拠点として活用する。

施設は延べ床面積500平方メートル弱で、木造2階建て家屋5棟の内外装をリノベーションした。地域の交流の場となる「ソーシャルカフェ」、子どもの世話をしながら仕事ができるコワーキングスペース、熟成酒などの専門店、「BIM」と呼ばれる木造住宅の建築業務の効率化サービスを提供する企業などが入居した。今後は地域のイベントで活用し周辺の活性化につなげる。